

日時 8月16日(土) 天候 晴れ
 球場 駒沢硬式野球場 第2試合 準々決勝
 審判 球審:並木 塁審:高橋憲 関場 家田

沖縄県立那覇商業高校 対 天理高校
 試合時間 2時間00分 備考

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	計	安	失
天理	奈良	0	0	0	0	2	0	0	1	0							3	8	0
那覇商業	沖縄	0	0	0	0	0	0	0	0	0							0	1	2

天理		氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9					
1	三	窪田 旬一	5	0	2	0	三振		左安		二ゴ		三安	一ゴ						
2	二	山田 大貴	3	1	0	0	中飛		三邪	死球		投犠	遊ゴ							
3	捕	名須 和成	4	1	1	0	三ゴ		死球	左安		三振		投ゴ						
4	中	鈴木 克幸	4	0	3	2		遊安	右安	右安		四球		遊ゴ						
5	一	大野 邦彦	4	0	0	0		四球	二ゴ		三失		三振	投ゴ						
6	遊	三浦 淳	3	1	0	0		投犠		三邪	三ゴ			二失						
7	左	岡村 亮太	3	0	1	0		四球		中飛		一ゴ		中安						
8	投	兒玉 直道	4	0	1	1		三振		三振		投ゴ		左安						
9	右	阿南 三善	3	0	0	0		遊飛			三ゴ	捕邪		投犠						
合計			33	3	8	3	残塁:11 併殺:0													
備考																				

バッテリー

投手	捕手
兒玉 直道	名須 和成

投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
兒玉 直道	9	31	1	12	5	0

那覇商業		氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9					
1	三	今平 大樹	4	0	0	0	三ゴ			三ゴ		遊併			三振					
2	遊	玉城 貴千	3	0	0	0	三ゴ			死球		三ゴ			三ゴ					
3	一	豊田 郷	3	0	0	0	三振			三振			三ゴ	死球						
4	投	賀数 智司	4	0	0	0		三振		三振			三振	投ゴ						
5	右	大橋 友彦	2	0	0	0		三振			投ゴ		四球							
6	捕	仲宗根 恭太	2	0	0	0		三振			死球			三振						
7	左	金城 一希	3	0	0	0			左飛		三振			三ゴ						
8	二	新垣 健	3	0	0	0				三振				投ゴ						
9	中	前原 深人	2	0	1	0			捕ゴ			三安			四球					
合計			26	0	1	0	残塁:4 併殺:1													
備考																				

バッテリー

投手	捕手
賀数 智司	仲宗根 恭太
大橋 友彦	
豊田 郷	

投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
賀数 智司	3	14	3	2	3	0
大橋 友彦	2	10	2	1	1	2
豊田 郷	4	17	3	2	1	0

戦評
 天理と那覇商業、優勝経験のあるチーム同士のベスト4を掛けての対戦。先攻の天理は2回表、内野安打、四球、送りバント、四球で一死満塁と絶好の先制のチャンスを迎えるが那覇商業先発賀数の前に後続が打ち取られ無得点に終わる。一方那覇商業は天理先発エース兒玉の小気味よい投球の前に3回まで3人ずつに抑え込まれる。4回裏、那覇商業は2番玉城が死球で出塁。一塁への牽制悪送球、三盗で三塁まで走者を進めるも後続を絶たれ無得点に終わる。5回表、天理は二死走者無しから2番山田が死球で出塁。3番那須の左前安打で山田が三塁まで進み、すぐさま那須も二盗に成功して二死二・三塁のチャンスを迎える。ここで4番鈴木がこの試合3安打目となる右前適時打を放ち2人を返して2点先制。天理は8回にも敵失と2本の安打で1点を追加し3 - 0と試合を優位に進める。投げてはエース兒玉のコーナーを丁寧に突く投球をバックが好守で盛り立て、那覇商業打線に付け入る隙を与えず、1安打、12奪三振で完封。天理が連覇に向けて準決勝に進出した。敗れた那覇商業は3人の投手がそれぞれの持ち味を遺憾なく発揮し天理打線に立ち向かった。両校ともキビキビとしたプレーでスピーディーな展開となり、再三にわたる好守は準々決勝で対戦するには惜しい好ゲームであった。